



東海アカシア・豊葦会 かわら版

2021年 冬版



【2020.11.22 香嵐溪にて】

< 目 次 >

- P2. ご挨拶
- P3. 東海アカシア会・豊葦会
総会について
- P4. 東海アカシア会事務局
Eメールアドレス &
東海アカシア会公式LINE
アカウント 開設！
- P5. 皆さまからのお便り①
近況報告いただきました
- P6. 皆さまからのお便り②
ー医療機関の現状
- P7. 第2回自転車愛好会
活動報告(香嵐渓)
- P8. 東海アカシア会会員の
ご活躍報告！

【発刊にあたって】

コロナ禍が収まらず、再度の緊急事態宣言が発出される、厳しい冬ごもりとなりました。夏のビール会の中止を判断した時は、「冬の総会までには落ち着いてくれるのでは」との淡い期待を抱いていたのですが、残念ながら総会の開催延期の判断となりました。

例年総会で実施しておりました活動報告を含め、20年度につきましてはこの紙面での報告で代えさせていただきたいと思います。

コロナをバネに、活動を盛り上げていきたいと考え、Eメールアドレスと公式LINEアカウントの開設にこぎ着けました。これにより、情報発信や相互の連絡がより取りやすくなることを期待しています。

東海アカシア会会長 荒田治彦（72回）

榎本会長ご挨拶

東海アカシア会の皆様、明けましておめでとうございます。

今年は、昨年末から急拡大しているコロナ感染によって、「静かなお正月」を迎えられたことと思います。

人とほとんどお会いすることもできず、寂しいお正月でしたが、箱根駅伝で10区で奇跡の逆転優勝を遂げた駒澤大学の「決して諦めない心」に感動し、大切なものを改めて教わったような気がします。

2月の総会も残念ながら延期とお聞きしておりますが、このような状況でも諦めることなく、かわら版第2号の発行で、「東海アカシア会の絆」をより強固にされていこうとする前向きな姿勢に、大いに共感いたします。

「朝の来ない夜はない！」、いつかきっと訪れるコロナの収束後、皆さんにお会いできることを楽しみにしております。今こそ、皆さんに力強いエールを送りたいと思います。今年も共に頑張っていきましょう！！



アカシア会会長 榎本良二（69回）

東海アカシア会・豊葦会総会について

2020年度の東海アカシア会・豊葦会総会につきましては、例年のように会員の皆さまに集まっていただく形式での開催ができないため、会長以下役員5名でリモート会議にて開催させていただきました。当日、監査役の佐藤さんから会計報告もいただきました。

総会および監査報告につきまして、下記のとおりご報告いたします。ご質問やご意見がありましたら3月末日までに事務局までご連絡ください。

期日までに、会員の皆様から特段のご意見がなければ、本報告にて、会員の皆様にご了承いただいたものとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2021年2月1日

東海アカシア会豊葦会総会

この会は、1961年1月1日に発足しました。

1. 役員構成

	東海アカシア会	東海豊葦会
会長（代表者）	荒田 治彦 （72）	田中 千晶 （71）
副会長	田中 千晶 （72）	なし
監査役	佐藤 典子 （78）	なし
事務局長	梶 幸一朗 （81）	なし
事務局次長	國司 和浩 （82）	なし

（注）名誉会長 沖 信一。
会長は、原則として70歳で交代する。

2. 年会費

通信費として、1口千円を支払い依頼（1997～2004）。
総会参加者に1口千円を支払い依頼（2005～2006）。
現在は寄付で充当。

3. 2020年度（2020年2月9日～2021年1月31日）収支

番号	項目	収入	支出
(1)	前年度（2020）からの繰越金	54,636	
(2)	2020年 2月9日総会 参加費 宴会費	146,000	154,000
(3)	寄付金（匿名）	5,000	
(4)	かわら版 作成費 発送費		6,504 7,426
(5)	利息	0	
(6)	来年度（2021）へ繰り越し		37,706
(7)	計	205,636	205,636

16,930
減少

繰越金の内訳：郵便貯金1,056円、現金36,650円

4. 会計監査報告

2020年度の会計が適正に処理されていることを確認しましたので、ご報告いたします。

2021年2月1日 監査役 佐藤 典子

5. その他

第13回地域アカシア会代表者懇談会は2020年7月17日に広島で開催される予定でしたが、中止になりました。

東海アカシア会事務局Eメールアドレス & 東海アカシア会公式LINEアカウント 開設！

【東海アカシア会事務局Eメールアドレスの開設】

東海アカシア会では、Eメールアドレスをご連絡いただいた会員の皆さまには、Eメールでご連絡をさせていただいております。これまでは、梶事務局長の個人アドレスを利用していましたが、このたび東海アカシア事務局のEメールアドレスを、gmailで作りました。皆さま、ご承知おきください！

Eメールアドレス：acaciatokai@gmail.com

【東海アカシア会公式LINEアカウントの開設】

会員の皆さま、特に若い世代との連絡方法を多様化するために、このたび、公式LINEアカウントを開設いたしました。下のQRコードを読み取って友だちに追加してください。登録いただいた皆さまとの連絡に、今後LINEを活用させていただきます。



友だちに追加していただくと、東海アカシア会の公式LINEアカウントから、左のメッセージが届きますので、お名前をメッセージで返信ください。

お名前は、「150回附属太郎」のように記載していただくと助かります。（事務局にてお名前を修正させていただきます）

同期のお友だちに、LINEのQRコードをご連絡ください！

＜東海アカシア会会員の現状＞

2021年1月現在、事務局で把握している東海アカシア会の会員は143名です。うち、67名の方にEメールのアドレスをご連絡いただいております。

東海アカシア会は、年会費等を集めておりませんので、今後も、Eメール、LINEを使うことで、会員の皆さまとの連絡手段を確保するとともに、経費削減に努めていきたいと考えております。

EメールアドレスまたはLINEアカウントの登録につき、是非、ご協力お願いします。

回生	メール連絡	その他	合計
～39	0	1	1
40～49	8	4	12
50～59	13	4	17
60～69	6	5	11
70～79	16	8	24
80～89	10	17	27
90～99	9	11	20
100～	5	26	31
合計	67	76	143

皆さまからのお便り① 近況報告いただきました

夏のかわら版発行時に、近況報告を募ったところ、4名の方から寄稿いただきました。
ここに掲載させていただきます。

齋藤翁さん（48回）

打ち続く猛暑の中、いつ終息するかも定かでないコロナ巣籠りの不安で息苦しい毎日。そのさ中に届いたのが、しゃれたレイアウトに編集されたこの印刷物。何と、思いがけない「東海アカシア会・豊葦会のかわら版」でした！

それは、カラー刷りで、5枚のペーパーの表裏を使い「ビール会中止のお詫び」「榎本アカシア会会長のご挨拶」から始まり、「新役員各位のご挨拶」や「かわら版発行の判断」

「母校訪問」「自転車同好会の発足」等、盛り沢山の活動報告を編集。加えて「若い会員達のユニークな起業の取組み紹介」も盛り込まれ、居ながらにして、会員皆さん活発な活動ぶりに触れる思いをさせて貰い、ともすれば先の見えないコロナ籠りに一条の光を見る思いに。

ここで改めて思い起こすのが、かつて実感した「会うのが一番」の一言。その真意は「電話は確かに

便利だが、（情報量は）会うことには適わない」と言うことでした。コロナ籠りの状況で、今はやりの「やれウェブだ、オンラインだ」ともて囃され、それが人間関係の実感を持って説得力を持つするには、その背景にアカシアの同窓・同級生 同志、東海アカシア会の濃密な人間関係の存在・積み重ねがあつてのことということです。

コロナ籠りの状況に届いた「かわら版」には、干天の慈雨のような感動がありました。

兼川徹さん（48回）

コロナ騒ぎで ずっと家に引きこもっています。
相変わらず 畑仕事の話をする。
今年の8月は 雨も降らず 高温続きで野菜にとっては最悪でした。
地面が硬く 草取りもできず ほったらかしでした。
殆ど立ち枯れに近い状態でしたが、ミニトマトだけは元気で豊作でした。
9月中旬の長雨で ナス、ピーマン、つるインゲンが復活して取れ始めています。
逆に トマトは長雨で腐ってしまいました。
今は 体調も異状なく 冬野菜の準備に入っています。

成瀬まり子さん（65回）

65回生成瀬です。かわら版楽しく拝見いたしました。
コロナ禍の中いろいろご配慮頂きありがとうございます。

私は7月3日に母が川に転落して頭部打撲と肩甲骨、肋骨骨折で入院した！との連絡を受け、慌しく帰省いたしました。以外に元気で今はなんとか退院出来て自宅療養しております。なにぶん高齢の両親2人の生活なので、色々な手続き等頻繁に広島に行く生活です。愛知県から県をまたぐ移動なので、肩身が狭いですが、不要では無い！と思う事にしています。

次回皆様にお会いして元気を頂きたいと痛切に感じています。

永町佳隆さん（96回）

皆様初めまして、転勤で昨年4月より名古屋市民となりました、96回卒の永町佳隆と申します。
Covid-19のためリアルでお会いする前に、このような形で初めましてのご挨拶となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

勤務先は、東京海上日動火災保険株式会社という損害保険会社です。

これまで、広島、東京、ベトナムと経験して参りましたが、各地でアカシア会の諸先輩方には大変お世話になって参ります。特に直近おりましたベトナムでは、在越日本人2万人程度にもかかわらずアカシア会の方との出会いに恵まれ、ヤクルトベトナム社長の原本さん、東京海上日動ベトナム社長の前表さんには頭が上がりません。

この東海アカシア会でも、皆様にリアルでお会いできることを楽しみにしております。

なお、前回のかわら版に記載のありました自転車 同好会の活動を拝見しまして、久しぶりに自転車に乗ってみたいと考えております。まだまだわからないことだらけではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

一医療機関の現状

先生の講演動画のリンクを下段追伸に記載していますので、是非ご覧ください！
なお、本寄稿は年始（第2次の緊急事態宣言発令前）にいただきました。



東海アカシア会の皆さん、明けましておめでとうございます。今年も新型コロナで幕開けをしていますね。現在私は、田舎の病院に勤務していますが、病院で起こっていることとお話しできればと思います。

当院は感染症指定病院ではありませんので、新型コロナの患者さんは入院していませんが、いつかは当院に患者さんが発生して、転送する病院がない日があるだろうと予測して、1病棟を空にしてコロナ病棟を作ること決めました。

一般の人はなぜ患者さんを出す必要があるかと思われるかもしれませんが、患者さんの数に対してそれを看護する看護師の数は決まっています。従って新たな病棟に患者さんを受け入れるためには、それ以外の患者さんを減らしておく必要があるのです。感染症の患者さんは一般の患者さんと混ぜて入院をさせることはできません。他の患者さんに感染する可能性があるの

独立した病棟にする必要があります。

そこで新たな問題が起きました。いったん空にする病棟の看護師さんたちのなかには、ご自宅に高齢の方がいたりして、新型コロナの患者さんの看護につくのに抵抗のある方がいます。その看護師たちを別の病棟に移動してもらい、その病棟から代わりに新型コロナ病棟に移動してもらう必要があります。つまり、全病院的な看護師配置の再検討をする必要になりました。

なんとかそれをこなして、対象病棟の患者さんの退院を進めていましたら、近隣の市民病院で新型コロナウイルスの院内感染が起きて、患者さんがその病院を避けて当院にくるようになりました。そのため、当院の入院患者数が増えたために、空にできなくなってきました。その間にも新型コロナウイルス感染症の入院患者が増えて、指定病院のベッドが満床に近くなってきていました。

そのため、地元医師会にお願いして、当院に新型コロナの受け入れをする病棟を作ることは、この地域の安全につながることを説明して、一般の患者さんを近隣の病院に搬送することとなりました。

なんとか病棟が空になった翌日の12月25日に、当院に救急車にて運ばれてきた患者さんが、新型コロナ陽性と判明しました。指定病院に転送を依頼しましたが、満床のために対応できないとの返事でしたので、初めて当院に入院となりました。

今、年明けを無事に迎えてホッとしています。同時に明らかに感染は一般の生活に広がってきていると感じています。

さてこれからどうなるか見極めよう
と考えています。いつものような
懇親会ができる日が早く来る
ことを願っています。

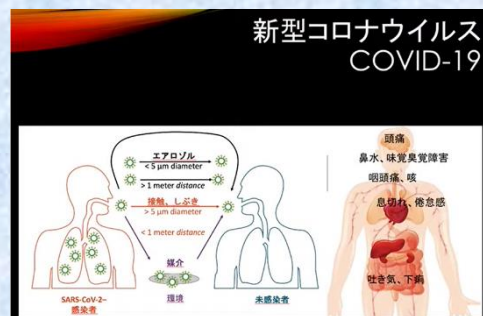
恵美宣彦（64回）
2021年1月6日 記

追伸：以下は、昨年私が講演した内容を動画にしたもののリンクです。長いので時間のある方が見てもらえればと思います。今見て、病院名が載っているのに気がつきました。すいませんが、病院名は見なかったことにしてください。新型コロナを受け入れている病院に勤務しているというだけで看護師さん達は肩身の狭い思いをすることが実生活ではあるようです。

1 講演前半：ウイルスの説明
<https://youtu.be/dimgRpJ-JPs>



2 講演後半：遺伝子変化について
<https://youtu.be/HfsHbMeaZhk>



第2回自転車愛好会活動報告(香嵐溪)



秋もたけなわの11月22日、アカシア自転車愛好会の5人は豊田市の水源公園から自転車で約20Kmの香嵐溪を目指しました。

75回の荒田会長、同じく75回で最近自転車を購入された服部さんとその旦那さま、82回の國司さん、57回の藤井です。荒田会長は実はアマチュア最高峰の乗鞍の標高差1260mの自転車レースに参加される超ベテランで、何と自分で組み立てられた自転車で参加、國司さんも同じく自転車フリーク。このお二人は自転車に乗っているフォームが私と全く違います。

私は普段片道9kmの自転車通勤をしているだけの通勤サイクリストで皆様の足を引っ張る最高齢。おどろいたのは服部さんで下肢を痛めて養生しておられるのですが、自転車は足には体重がかからないのでリハビリによい、ということでクロスバイクを買われたようです。それが何と先導の荒田会長や國司さんに遅れずについていくではないですか。心肺機能がとても良好です。高齢者の私は心肺機能が心配です。そのあとをついていくのがやっとです。



しばらく矢作川沿いの狭い道を走りますが、車も少なく快適です。やがて川をはなれて軽い登り、がんばりどころ。会長が高齢者に気を使って適当に休憩を入れてくれます。

次はまた川沿いに戻りますが香嵐溪を目指す車の多い道と反対側を進むのです。しばらく走るともう香嵐溪の入口。

約2時間のランはあっという間でした。駐車場はほぼ満車ですが、そこが自転車のよいところですね。どこでも停めることができます。

紅葉はやや終わり際でしたが美しく、秋を堪能しました。

コロナの中ですがさすがに香嵐溪、たくさん人がいました。カフェで食事をして同じ道を帰りましたが、仲間と



走るのはとても楽しいことでした。これぐらいだとママチャリでも可能ですので、普段あまり自転車に乗られないアカシアの皆様、是非次回はご一緒しましょう！

藤井義敬 (57回)



帰路も余裕の笑顔



春に第3回を開催予定です。
ご参加お待ちしております



東海アカシア会会員のご活躍紹介！

永田雄一さん（84回）

前回のかわら版で報告致しました新しい楽器「インスタコード」は、今年7月の発売に向けて目下準備中です。
規格認証や特許取得など初めての経験ばかりで、45歳の刺激的な日々を送っています。



東海アカシア会・豊葦会かわら版 2021年冬版
東海アカシア会事務局 2021年2月発行
連絡先Eメール：acaciatokai@gmail.com

皆さまの近況やご活躍の様子を、是非、事務局までお知らせください！